

ようこそ学長室へ 256

～「はじめまして」のその先へ～

春光をいっぱい浴びつつ、野山を散策したい今日この頃です。皆さんいかがお過ごしでしょうか。さて今回のお客様は、第2回「フレッシュマンキャンプ『つながるDay』」（令和8年4月10日中津川キャンパス）での活躍が顕著だった赤井寿梨さん、黒沢美來さん（看護1年）、松葉ひなたさん、市岡杏奈さん（保育1年）です。この行事は、新入生が一同に会し、アイスブレイク、ゲーム、周遊型ワークなどで学部を越えて交流を深めるものです。当日は大雨の中、体育館に新入生約250名が集まり、グループに分かれて活動しました。4名の学生に感想などを伺いました。

初めにフレッシュマンキャンプを知った時の思いを尋ねると「キャンプと名前が付いているので、テントなどを立てて交流するのかな」（赤井）「何するのだろう」と思い、先輩に聞きました」（黒沢）「一日山の中で過ごすのかなあ」（松葉）「キャンプファイヤーがあって踊ったりして、素敵な男性との出会いがあるかも？（笑）」（市岡）と。参加後の感想は「最初はあまり盛り上がりませんでしたのですが、2位になり賞品をもらえて嬉しかったです」（赤井）「みんなと仲良くなって3位になりました。ボール運びやペットボトルフリックで満点でした」（黒沢）「どちらかと言えば静かなグループでしたが、看護や経営の学生とたくさん話せました」（松葉）「最初は緊張していましたが、風船バレーから徐々に盛り上がり楽しかったです」（市岡）と当初のイメージとは違う内容でしたが、有意義な時間となったようです。印象に残っているのは「入賞できたことや留学生と話せたこと」（赤井・黒沢）「スペシャルゲストから殺陣を教えてもらったこと」（松葉）「じゃんけん列車で自分のチームが最後まで勝ち残ったこと」（市岡）と。他学部生との交流は「グループ全員とインスタを交換できた。お昼ご飯を一緒に食べて仲良くなれた。留学生が言葉を教えてくれた」と様々なつながりが生まれたようです。

最後に今後の抱負を尋ねると「勉強、遊び、バイトにバランス良く取り組み、保健師、看護師、養護教諭の免許を取りたい」（赤井）「部活と勉強の両立を目指したい」（黒沢）「テストで60点以上。実習が楽しみなので頑張りたい」（松葉）「講義は休まず、全力で大学生活を楽しみたい」（市岡）とのことでした。

今回の取材を通じて、この行事が学部を越えた仲間と交流する機会になったことを嬉しく思いました。自分と同じ考えや背景を持つ人は誰一人として存在しません。大切なのは違っている相手を認め、気づきを得ながら自己の成長につなげることです。出会いの一つひとつを成長の種にして欲しいものです。#真剣味

取材後記：これから大学生活を楽しみたい！頑張りたい！とエネルギーみなさん。楽しそうに話してくれたみなさんの笑顔に、私も元気をもらいました～。（き）



左から、私、黒沢さん(青藍泰斗)、赤井さん(至学館)、市岡さん(中京)、松葉さん(坂下)
※()内は出身校